

# 令和5年度 情報工学部門 技術士合格体験記

エクシオグループ株式会社  
登田 貴久様



## “経験豊富な講師陣と共に、本講習をペースメーカーに”

### ◎はじめに

私は本講座を受講し、技術士「情報工学部門」に合格しました。技術士試験は仕事をしながら、長期間、合格へのモチベーションを維持して勉強を続けることになるため、**かなりの忍耐と努力を求められます。その分、合格すれば喜びも大きいです。**これから受験される皆様に簡単ではありますが、私の合格までの軌跡を紹介させていただきます。

### ◎受験動機

社内で技術士制度の説明会に参加したことで興味を持ちました。それ以前は、漠然と難関資格の1つとしか思っていなかったのですが、**我が国における技術系最高峰の国家資格**であり、業務実践が前提になるため、**顧客からの信頼獲得にも繋がられる**と考え、受験を決めました。

### ◎筆記試験突破対策講座の受講

**技術士試験の難しさは設問に対して1対1の正答が無いことにあります。**一般的な試験と違い、過去問や問題集の正答を多く暗記することで突破できる試験ではないのです。専門知識や業務知見を駆使して、自分なりの解決策を導き出し、それを相手にわかりやすく論述することが求められます。そのため、自分の論文を客観視する必要があり、他の人からの指摘が欠かせません。**筆記試験突破対策講座では思い込みや傾向を的確に指摘していただき、自分の癖を知ることができました。**自分を客観視することは、誰しも難しいことです。これまで皆様が得てきた業務での成功体験は必ずしも技術士のコンピテンシーとイコールではありません。経験を振り返り、技術士として相応しい論述を

心がけてください。

私は毎日決まった時間を勉強に割くのが苦手でした。そこで、いつまでに何枚論文を提出するという計画を最初にて、どんなに忙しくても期限と枚数だけは守るようにしました。講師からの添削回答が来るタイミングに合わせて次を提出するルーティンができると、自然と採点に来るのが楽しみになりました。このように**本講習をペースメーカーにさせて頂くのも、長期間の勉強を続けるコツ**だと思います。

### ◎口頭試験対策講座の受講

口頭試験は合格率が高いから顔合わせ程度だと誤解している人がいますが、現実には対策無しでは到底受かることはできません。自分の体験を踏まえて話す必要があり、論理の一貫性も問われます。口頭試験対策講座では**経験豊富な講師陣が様々な観点で口頭試問してくださいませ。**模擬面談のときは、頭が真っ白になり回答できなかった設問もありましたが、トレーニングを繰り返し、本番ではよどみなく回答できるようになっていました。

### ◎おわりに

振り返ると、合格までの過程において様々な成長ができた気がします。他の人の考えや意見を知り協調すること。コミュニケーションを取り、関係者の協力を得ること。視野を広げ、幅広くインプットすること。**最終的に合格にたどり着けたのは、サポートしてくれた家族の理解があったからだ**と思います。このような大きな成長機会を与えてくれた技術士資格にぜひ多くの方にチャレンジして頂きたいと思います。